



2026年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年7月11日

上場会社名 カネ美食品株式会社 上場取引所 東
コード番号 2669 URL <https://www.kanemi-foods.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）今井 善広
問合せ先責任者 （役職名）執行役員経営管理本部長 （氏名）大谷 浩一郎 TEL 052-879-6111
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年2月期第1四半期の業績（2025年3月1日～2025年5月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年2月期第1四半期	21,206	△4.8	302	△61.5	316	△59.9	166	△67.6
2025年2月期第1四半期	22,277	6.6	787	△6.9	791	△8.4	514	△10.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第1四半期	17.23	—
2025年2月期第1四半期	53.23	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年2月期第1四半期	37,888	29,070	76.7	3,004.22
2025年2月期	37,408	29,083	77.7	3,005.61

（参考）自己資本 2026年2月期第1四半期 29,070百万円 2025年2月期 29,083百万円

（注）株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託（ＢＢＴ）」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式（2026年2月期第1四半期 1,132株、2025年2月期第1四半期 2,799株）に、1株当たり純資産金額の算定上、期末発行済株式数から控除する自己株式（2026年2月期第1四半期 1,132株、2025年2月期 1,132株）にそれぞれ含めております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	19.00	—	19.00	38.00
2026年2月期	—				
2026年2月期（予想）		19.00	—	19.00	38.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年2月期の業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	87,400	△3.4	3,080	0.0	3,110	0.0	1,750	△10.1	180.85

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期1Q	10,000,000株	2025年2月期	10,000,000株
② 期末自己株式数	2026年2月期1Q	323,504株	2025年2月期	323,494株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期1Q	9,676,501株	2025年2月期1Q	9,674,946株

（注）株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託（ＢＢＴ）」に残存する自社の株式は、１株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式（2026年2月期1Q 1,132株 2025年2月期1Q 2,799株）に含めております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、経営環境の変化など様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他に関する事項については、添付資料２ページ「１．経営成績等の概況（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7
3. 主要な経営指標等の推移	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、堅調に推移するインバウンド需要や雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調がみられる一方で、アメリカの関税政策の影響により世界的な景気の減速が予想されるなど、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

当業界においても、継続的な物価上昇などにより消費者の生活防衛意識のさらなる高まりを背景に引き続き厳しい経営環境となりました。

このような経営環境のなか、当社は前事業年度で培った「深化・深耕」の成果を基盤とし、組織力や商品力のさらなる成長を図るとともに、引き続き株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス（以下、「PPIH」という）との業務提携を基軸に、果敢なチャレンジと柔軟な変化対応により、事業規模の拡大及び企業価値の向上を図ってまいりました。

報告セグメントの経営成績は、以下のとおりであります。

① テナント事業

テナント事業においては、インバウンド需要の高まりに加え、春休みやゴールデンウィークなどの行楽需要が寄与し、好調に推移しました。

店舗展開として、洋風惣菜店舗「eashion（イーション）」を1店舗出店し、総合惣菜店舗8店舗の増床・改装を実施しました。MD戦略においては、『中華御殿MD』として「おかずになる中華惣菜」「幅広い年齢層に指示される中華弁当」「おつまみ需要を意識した中華冷惣菜」などを展開しました。また、スチームコンベクションオーブンを活用し、店内焼成にこだわった『グリルメニュー』を展開し、買場の活性化に注力してまいりました。

加えて、前事業年度に実施した運営体制の見直しが実を結び、店舗運営にきめ細やかさがプラスされたことで生産効率の改善に寄与しました。

これらの結果、テナント事業の売上高は前年同期間に比べ5.0%増収の114億34百万円となりました。利益面においては、米の価格高騰の影響を大きく受けたものの、外販事業との連携強化により機会損失を削減できたことでセグメント利益は前年同期間に比べ35.4%増益の4億75百万円となりました。

② 外販事業

外販事業においては、ドン・キホーテ店舗やユニー店舗への納品アイテムを拡充しており、納品量の増加に向けた取り組みを着実に進めてまいりました。そのため、PPIHへの納品については好調に推移しました。

また、テナント事業同様、インバウンド需要の高まりにより鉄道系コンビニエンスストアへの納品も堅調に推移しました。一方、一部工場において政策的な生産調整により、外部向けの納品量が一時的に減少しました。この状況下、新たな取組みとして「冷凍アイテム」の製造を開始し、PPIHとの業務提携の下、さらなる納品拡大と、生産体制の安定化と効率化による利益率の改善・向上を計画しております。

これらの結果、外販事業の売上高は前年同期間に比べ14.2%減収の97億72百万円となりました。利益面では納品拡大を目的とした生産体制の見直しに伴う一時的なコスト増加の影響もあり、1億72百万円のセグメント損失となりました（前年同期間は4億36百万円のセグメント利益）。

以上の要因により、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高は前年同期間に比べ4.8%減収の212億6百万円となりました。利益面については、経常利益は前年同期間と比べ59.9%減益の3億16百万円、四半期純利益は前年同期間に比べ67.6%減益の1億66百万円となりました。

前年同期間と比較して減益となっておりますが、中長期的な成長に向けた重要な変革期であり、『変革時の踊り場』からさらなる成長を図り、収益力の向上に努めてまいります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ4億80百万円増加して378億88百万円となりました。

この主な要因は、現金及び預金が13億37百万円減少した一方で、売掛金が16億81百万円増加したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ4億93百万円増加して88億18百万円となりました。

この主な要因は、買掛金が3億19百万円増加したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ13百万円減少して290億70百万円となりました。

この主な要因は、利益剰余金が17百万円減少したことなどによります。

これらにより、当第1四半期会計期間末の自己資本比率は、前事業年度末の77.7%から76.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年4月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,925,579	17,588,513
売掛金	5,500,007	7,181,155
製品	2,187	10,175
仕掛品	10,934	11,488
原材料及び貯蔵品	492,200	495,757
前払費用	91,335	146,825
未収入金	43,293	20,158
テナント預け金	129,296	203,094
その他	210,680	210,440
流動資産合計	25,405,516	25,867,608
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,586,439	3,553,117
構築物（純額）	212,700	206,109
機械及び装置（純額）	2,195,902	2,163,030
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	493,155	492,678
土地	2,887,081	2,887,081
リース資産（純額）	84,361	71,974
建設仮勘定	599,136	601,936
有形固定資産合計	10,058,776	9,975,929
無形固定資産		
ソフトウェア	57,312	55,135
ソフトウェア仮勘定	330	330
無形固定資産合計	57,642	55,465
投資その他の資産		
投資有価証券	594,647	599,930
出資金	2,030	2,030
長期前払費用	100,507	91,565
前払年金費用	520,576	581,566
繰延税金資産	304,997	356,868
差入保証金	363,914	357,926
投資その他の資産合計	1,886,673	1,989,887
固定資産合計	12,003,092	12,021,282
資産合計	37,408,608	37,888,891

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2025年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,336,457	3,656,233
未払金	1,631,120	1,289,450
未払費用	1,431,785	1,704,781
未払法人税等	584,500	241,000
未払消費税等	317,099	386,894
賞与引当金	581,800	892,400
役員賞与引当金	13,000	3,900
役員株式給付引当金	1,000	2,000
資産除去債務	2,076	803
その他	57,129	271,286
流動負債合計	7,955,969	8,448,749
固定負債		
リース債務	13,064	11,971
長期未払金	1,306	1,197
資産除去債務	349,327	351,558
長期預り保証金	5,028	5,028
その他	74	96
固定負債合計	368,800	369,850
負債合計	8,324,769	8,818,600
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002,262	2,002,262
資本剰余金		
資本準備金	2,174,336	2,174,336
その他資本剰余金	3,731	3,731
資本剰余金合計	2,178,068	2,178,068
利益剰余金		
利益準備金	81,045	81,045
その他利益剰余金		
別途積立金	10,300,000	10,300,000
繰越利益剰余金	15,186,151	15,168,968
利益剰余金合計	25,567,196	25,550,013
自己株式	△996,267	△996,298
株主資本合計	28,751,259	28,734,046
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	332,579	336,245
評価・換算差額等合計	332,579	336,245
純資産合計	29,083,839	29,070,291
負債純資産合計	37,408,608	37,888,891

(2) 四半期損益計算書

(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
売上高	22,277,375	21,206,567
売上原価	18,339,097	17,859,860
売上総利益	3,938,278	3,346,707
販売費及び一般管理費	3,151,146	3,044,101
営業利益	787,131	302,605
営業外収益		
受取利息	0	806
受取配当金	1,255	1,410
不動産賃貸料	1,525	1,188
雑収入	—	4,000
受取手数料	1,294	1,212
その他	1,161	6,132
営業外収益合計	5,237	14,748
営業外費用		
不動産賃貸原価	193	155
雑損失	529	67
その他	337	496
営業外費用合計	1,060	718
経常利益	791,308	316,635
特別利益		
固定資産売却益	—	1,663
特別利益合計	—	1,663
特別損失		
固定資産除却損	2,710	3,994
減損損失	2,873	12,910
特別損失合計	5,584	16,904
税引前四半期純利益	785,724	301,394
法人税、住民税及び事業税	333,582	188,189
法人税等調整額	△62,842	△53,487
法人税等合計	270,740	134,701
四半期純利益	514,983	166,692

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりです。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	248,239千円	263,866千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自2024年3月1日至2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	テナント事業	外販事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	10,884,419	11,392,956	22,277,375	—	22,277,375
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	10,884,419	11,392,956	22,277,375	—	22,277,375
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	865,305	865,305	△865,305	—
計	10,884,419	12,258,261	23,142,681	△865,305	22,277,375
セグメント利益又は損失(△)	350,899	436,216	787,116	15	787,131

(注) 1. セグメント利益の調整額15千円はセグメント間の内部取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自2025年3月1日至2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	テナント事業	外販事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	11,434,344	9,772,223	21,206,567	—	21,206,567
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	11,434,344	9,772,223	21,206,567	—	21,206,567
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,296,817	1,296,817	△1,296,817	—
計	11,434,344	11,069,041	22,503,385	△1,296,817	21,206,567
セグメント利益又は損失(△)	475,332	△172,715	302,616	△11	302,605

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△11千円はセグメント間の内部取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 主要な経営指標等の推移

回次	第55期 第1四半期 累計期間	第56期 第1四半期 累計期間	第55期
会計期間	自 2024年3月1日 至 2024年5月31日	自 2025年3月1日 至 2025年5月31日	自 2024年3月1日 至 2025年2月28日
売上高 (千円)	22,277,375	21,206,567	90,481,370
経常利益 (千円)	791,308	316,635	3,108,196
四半期(当期)純利益 (千円)	514,983	166,692	1,948,085
資本金 (千円)	2,002,262	2,002,262	2,002,262
発行済株式総数 (株)	10,000,000	10,000,000	10,000,000
純資産額 (千円)	27,826,471	29,070,291	29,083,839
総資産額 (千円)	36,653,223	37,888,891	37,408,608
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	53.23	17.23	201.33
自己資本比率 (%)	75.9	76.7	77.7

(注) 株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託(BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期(当期)純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。